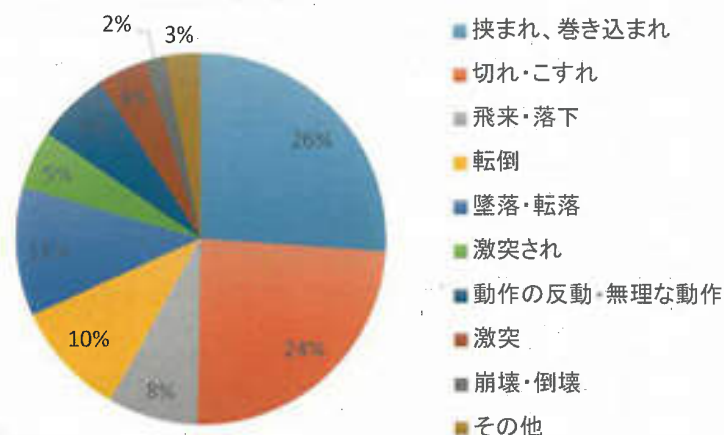


労働災害の分析（過去5年間）（木材・木製品製造業）

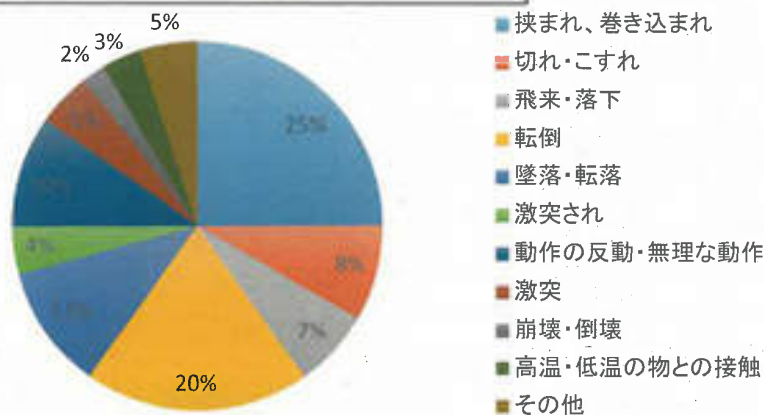
- 労働災害の傾向を分析すると、事故の型別の上位は「挟まれ、巻き込まれ」「きれ・こすれ」、起因別の上位は「木材加工用機械」「材料」「動力運搬機」となっており、他の製造業とは異なる傾向。
- これは、木材・木製品製造業が、木材を切削する機械を常時使用すること、重量物である木材を機械により搬送・移動することによる事故の傾向であると考えられる。

■ 事故の型別死傷者数(H29～R3)

木材・木製品製造業

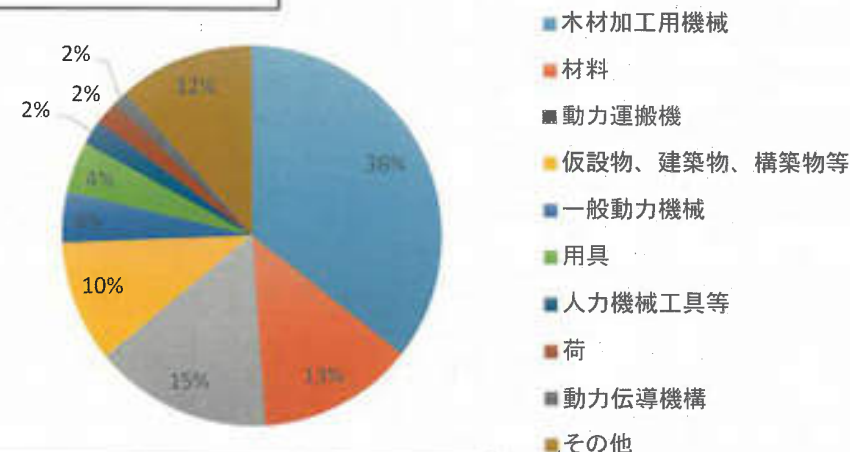


製造業（木材・木製品製造業を除く）

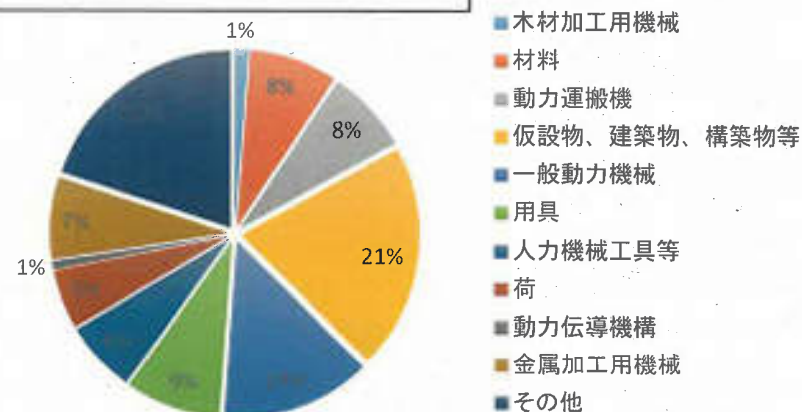


■ 起因別死傷者数(H29～R3)

木材・木製品製造業



製造業（木材・木製品製造業を除く）



資料：厚生労働省「労働者死傷病報告」注：H23年は東日本大震災を原因とするものを除く